

令和6年度 ときわ保育園園評価

1. 保育方針 「園のしおり P7 掲載」

【0歳児】

- 一人ひとりの育ってきた過程を大切にし、甘えや要求を受け止め、安心して過ごせるよう信頼関係を築いていく。
- 家庭や園で生活する子どもの姿を見守り保護者と連携を図り、心身共に安定した生活の流れを作っていく。

【1・2歳児】

- 子どもの発する言葉・身振りで子どもの思いを受け止めていく。
- 自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的習慣を身につけていく。

【3歳以上児】

- 家庭との連携を密にし、個人差を大切にしながら、基本的生活習慣の自立を図っていく。
- 自分の思いや考えを相手に分かるよう伝え、友だちや保育者の話に耳を傾ける大切さを知らせていく。
- 必要な決まりや役割に気づき、子ども自らが判断し友だちと一緒に生活や遊びをすすめていくことで、異年齢児との関わりを豊かにしていく。

2. 職員確認事項

1. 職員間の和・輪を大切にし、連携を密にして園共通の理解を深める。
2. 働きやすい職場をめざし、心穏やかに仕事を行う。
3. 保育士の資質の向上を目指す。

3. 今年度の重点目標

1. 気持ちの良い挨拶をする。
2. 模倣遊びやごっこ遊び等言葉と体を使った表現の保育や自然を取り入れた保育、体幹を鍛える運動遊びを通して体の成長とともに命の大切さを教える。
3. 健康・安全教育の推進を図り、良い習慣を身につけさせる。
4. 保護者・地域との連携を図り、良い環境の中で保育ができるよう努める。

「評価」の欄には（A:よく達成できた B:達成できた C:やや課題が残る D:改善を要する）で記入。
「取組状況と改善方法」は来年度に向けての改善点を具体的に記入。

評価分野	項目	評価	取組状況・改善方法
園運営	1 散歩や、行事等を通して地域の人と触れ合う機会を持つ保育に取り組んだか。	A3. B7 C4	・近隣の『サダクラブ工場』は、園児の工場見学や園の『クリスマス会』への参加、『お餅つき』は地域の方々との交流の場になっている。
	2 保護者からの相談内容を、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めたか。	A6. B8	・『園庭開放日』を毎月設けているが、参加が少なく発信方法を考察していきたい。
	3 園だよりや、クラスだより、連絡帳、掲示板等で園の情報等を発信できたか。	A10. B4	・保護者からの相談等は、主任・園長に相談し解決方法を参考に保護者への対応をしている。
	4 地域の子どもについての保育ニーズを把握し、園庭開放等積極的に取り組めたか。	A1. B4 C8. D1	・ホームページ、園・クラスだより、連絡帳、掲示板等で、保育や行事の様子等発信し、喜ばれている。 ・地域との関わりが増えるよう、考察したい。
保育理念	1 乳幼児期は、生涯に渡る『生きる力』の基礎が培われる時期である事を理解し、保育を実践しているか。	A1. B12 C1	・個々に沿った対応を意識して保育をしているが、違った対応でも良かったのではと思う時がある。
	2 子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てる関りができたか。	A1. B10 C3	・『設定遊び』は、子ども自身が選択して遊ぶ事で自主性が養われるが、『大人目線』にならないように、工夫していきたい。
	3 子どもが興味や関心を示し、主体的に関わろうとする環境を整えているか。	A2. B12	・個性や性格を把握し、関われるようにしていきたい。
	4 友だちとの関係の中で、『個』の成長も促す事を意識して、生活や遊びを展開させたか。	A1. B12 C1	・一人ひとりを大切にしながら、認める声掛けや共感する事が信頼感や安心感に繋がるようにした。 ・自分自身の『心のゆとり』を心掛けた。

保育の内容	1	保育課程を基に、指導計画を意識して保育実践に努めたか。	B7. C7	・ 保育課程を分かっているつもりだが、『保育指針』等を読み返していきたい。
	2	季節感や日本の伝統的な行事等、指導計画の中に積極的に取り入れたか。	A7. B6 C1	・ 保育計画が、目の前の子どもの発達とかみ合っていない事があると感じ、今の子どもの姿や発達を考察しながら保育内容の充実を図りたい。
	3	『食育』や『眠育』の重要性を意識し、それぞれの環境等に工夫し取り込めたか。	B11. C3	・ 見通しを持った保育に取り組んでいきたい。
	4	子どもたちが十分に体を動かせるよう、時間と場所を確保する等配慮できたか。	A8. B5 C1	・ 季節毎の行事は由来等伝えたり、雨天時の室内遊び(ランクルーム)にリミック等の運動遊びや『カプア』を取り入れ集団遊びをした。
	5	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの1日の流れを考えた保育ができたか。	A3. B11	・ 苦手な食材を一口でも食べられるように、励ます言葉を掛け見守る事で、自分から一口ずつ食べられるようになってきた。
	6	順番を守る等約束やきまりの大切さを理解できるように、丁寧に説明できたか。	A1. B12 C1	・ 未満児で、午睡中起きてしまう子がいたが、再度入眠する事が難しかった。眠育の取り組みを考察していきたい。
	7	身近な自然事象に触れたり、動植物を飼育・栽培し興味・関心を持たせることができたか。	A3. B5 C6	・ メダカの餌やり・カブトムシ等の飼育、季節の野菜を育て収穫やクッキングを楽しんだ。
	8	子どもが絵本や物語の内容と自分の経験を結びつけたり、想像や感動が広がるよう読み方を工夫したか。	A3. B10 C1	・ 支援が必要な子については、常にクラス職員と話し合い関わり方・援助の仕方を考えたり、園長・主任に相談しアドバイスを頂いた。
	9	特別な支援が必要な子について理解を深め、職員間で共有しながら適切な支援に努めたか。	A2. B9 C3	・ ルール・約束等繰り返し丁寧に伝えている。
	10	地域の特産物や、季節の旬の食材を意識し、献立に取り入れたか。	A9. B1A C1. 無3	・ 季節や行事等の絵本の読み聞かせを通して、身近に感じ易いようにした。
保健・安全	1	子どもの日々の健康状態を把握し、他の職員との共通理解に努め対応できたか。	A5. B7 C1	・ 登園時等【視診】をして健康状態を把握する。
	2	衛生面に気をつけながら、安全で保健的な環境を整えたか。	A5. B8 C1	・ 季節毎の感染症や対応(出席停止等)について、全職員間で共通理解を、随時図っていくと良い。
	3	感染症に関しての知識を持ち、子どもや保護者に対応できたか。	A1. B8 C5	・ 保育室の掃除が行き届かない部分が見られ、『ハウスダスト』等埃でアレルギー症状を誘発してしまう事を意識して欲しい。
	4	計画的に安全点検をするなど、危機意識を持って保育に臨んだか。	A3. B6 C5	・ 病み上がりの子どもの食事量等気につけ負担にならない等配慮をする。
	5	訓練を通して自己防災意識の向上につながったか。	A5. B6 C3	・ 『ヒヤリハット』の事案を職員間で共有し、意識した対応を心掛けたい。
資質向上	1	保育士や調理士としての責務と誇りを自覚して人間性と専門性の向上に努めたか。	A2. B9 C3	・ 手洗い、うがいは見届け、予防に繋げていく。
	2	自分の業務を振り返り、課題を見つけ、改善策を考え工夫して取り組めたか。	A1. B7 C6	・ 感染症等、アプリで啓発する事は続けて欲しい。
	3	積極的に研修に参加したり専門書を読む等保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めたか。	A2. B8 C4	・ 保育士として、子どもの成長の為にどう関われば良いかを考え、研修で学んだ事を実践している。

その他(保育の向上・職員間を良くするための意見やアイディア等)

・ 保育に関する悩み等の相談を、職員間で話し合える時間が作れると良い。また、園長・主任への相談ももつとしていきたい。

・ 保育中で起こった『事例・エピソード』それに対する保育士の思いや対応等を書面にし、それを把握する事で、自分自身の保育の振り返りや共感・気づきを得られる機会になるのではないと思う。

・ 研修会で得た学びを職員間で共有しながら、“子ども中心”の保育を話し合って共通理解を図りたい。